

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代表質疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



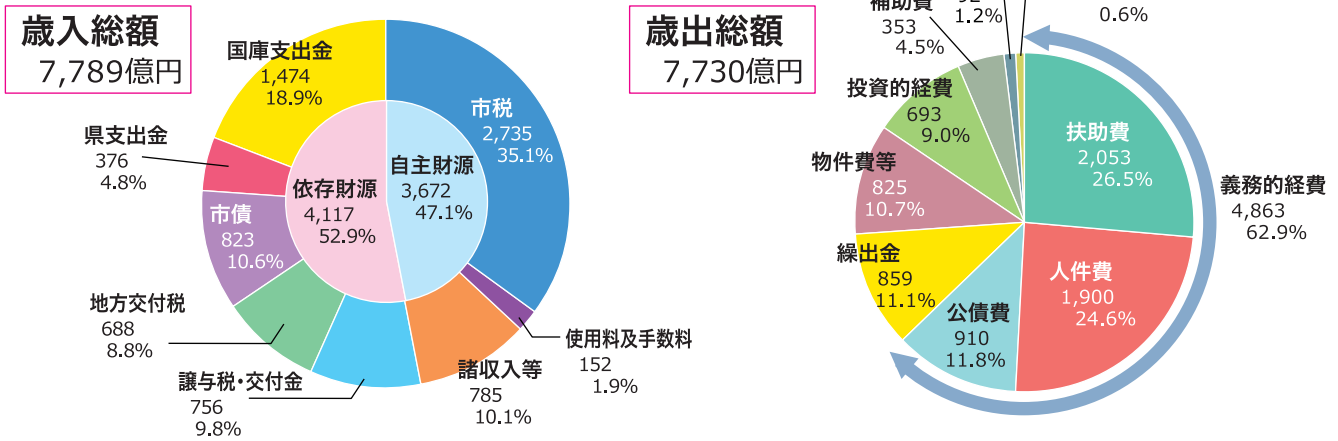
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第2回定例市会 9月議会報告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。





子どもたちの未来と明日の北区のために
神戸市会議員（北区）

池田りんたろう News



〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度決算特別委員会審査から

私は「水道局」を担当しました。千苺（せんがり）貯水池は、神戸市で一番大きな水道専用の貯水池です。安全で安心な水道水を守るため、千苺貯水池について重点的に質疑を行いました。



千苺貯水池

千苺貯水池の水質保全対策について

【問】 千苺貯水池の水質悪化を防ぐため、どのような取り組みをしているのか。

【答】 流入河川対策として、河川の美化事業や生活排水対策事業等を実施している。また、貯水池周辺における対策として、周辺土地を積極的に取得し森林の保持に努めることによって、水質保全に取り組んでいる。

水草を活用したカビ臭抑制の研究について

【問】 カビ臭の抑制を図るため、ササバモという水草を用いた実証実験をすることだが、現在の状況はどうか。また、今後のスケジュールは？



【答】 水草の植栽がカビ臭プランクトンの一種アナベナの増殖を抑制する手段となる可能性を室内実験より見出した。ササバモに付着した有用微生物の発見とアナベナを無菌化する手法、どちらも世界初となる取り組みとして進めている。千苺貯水池に導入したいと考えており、5年以内の実用化を目指している。

※この取り組みについて、神戸新聞10月16日夕刊でも取り上げられました。

千苺貯水池の治水活用について

【問】 治水活用によって市民生活に影響を与えることがあってはならない。県との協議の進捗状況はどうか。

【答】 水質監視の方法、水質保全対策等継続的に協議を重ねている。万が一水質が悪化した際には、県水三田西宮連絡管を用いて県水受水量の増量を行い全域をバックアップ。また、水量不足が生じる場合、阪神水道企業団からの増量や県水の受水を増量することにより、市民生活への影響を与えないようにする。

水道局OB職員の活用について

【問】 各都市被災地で支援にあたった神戸市水道局職員の活動は高い評価を得ている。OB職員を災害時の応急給水支援隊として協力していただいているかどうか？

【答】 災害時には、迅速な対応が求められる業務が数多く発生し、対応する職員が不足がちになる。OB職員の協力による応援体制の充実等について、どのような方法があるか検討したい。

市政のご相談はお気軽に

池田りんたろう 事務所

〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1-6
TEL 078-982-1177
FAX 078-981-1801

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



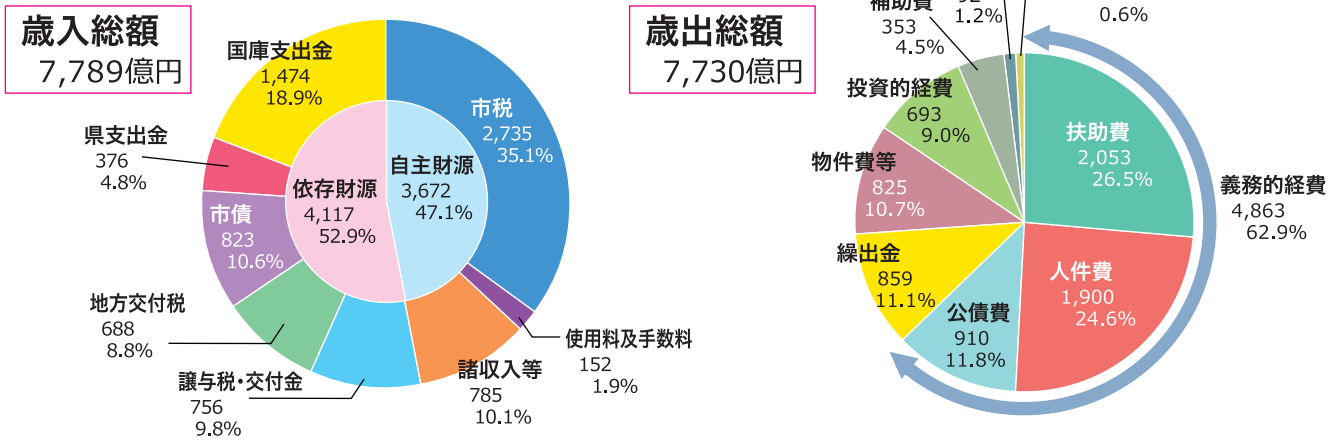
監査

平木ひろみ(中央区)

第2回定例市会 9月議会報告

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。





市会報告 神戸市議会NEWS

神戸市会議員（垂水区）

藤原 武光

ふれあいの垂水宣言

人とひとが支えあう社会を

事務所／神戸市垂水区舞多間西5-2-63
TEL・FAX 078-783-9806

こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成29年度神戸市各会計決算並びに関連議案について

平成29年度決算市会は9月18日～10月26日まで開かれました。

審査過程で、いわゆる「ヤミ専従」問題が発覚し、第三者委員会での全貌解明に向けた調査が行われることになり、決算議決は認定及び不認定の結論が出せないとの結論に至りました。

市長が第三者委員会より中間報告を受け、不適切な支出額について報告すると表明したことから、11月議会で改めて平成29年度決算の認定等の採否を決することになりました。

決算特別委員会では、 行財政局・市長室を担当

主な質疑

市役所における働き方改革について

1. 時間外勤務について

質 月100時間を超える職員が延べ690人、年間720時間超は237人に上る。職員の健康管理上も問題があるのでは。

答 時間外勤務の多い局は集中しており、マネジメントやマンパワー不足といった原因やその対処法を具体的に考えたい。勤務時間管理を全庁的に進め、働き方改革の中で仕事の流れを変えていきたい。

2. 年次有給休暇について

質 年次有給休暇の取得状況は、平均取得日数が14.7日、繰越日数は16.9日、未消化により消滅した日数は4.8日と聞いている。年次有給休暇が十分取得できていないのではないか。

答 仕事一辺倒ではなく、視野を広めるためにも休暇を取得するなど、ワークライフバランスがしっかり取れるような工夫や検討を行いたい。

3. 混在した職員構成と働き方改革について

質 職員構成を見ると、正規職員20,537人、再任用職員1,937人、任期付職員611人、嘱託・臨時的任用5,062人と、様々な雇用形態となっている。職員の働きがいやモチベーションを保つためには、正規と非正規との処遇改善が重要と考えるがどうか。

答 臨時・非常勤職員の多くは「会計年度任用職員」への移行を想定している。給与を決定していくには正規職員との均衡を考慮していくことが重要と考えている。

在住外国人支援について

質 政府は単純労働者の受け入れや留学生の受け入れ拡大等の方針を示した。外国人労働者の本格的な受け入れに対して、国際都市神戸としての新たな支援策はどうか。

答 市内に約4万7千人の外国人がおり近年増加している。より住みやすい街になるために、市長・副市長をはじめ全庁的に検討会を開催し具体的な検討を行っている。



こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行／こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

災害に強いまちづくりに取り組みます

今年の夏は、大阪北部の地震に始まり、豪雨・台風と災害が続きました。代表質疑では、住民生活に直結する災害対策などについて質疑を行いました。今後の豪雨・台風災害に備えて、被害を最小限に抑えるまちづくりに取り組んでまいります。

代 表 質 疑

池田りんたろう 議員 (北区)

洪水浸水想定区域等への対応について

Q 豪雨により道場町を流れる有馬川で堤防の一部欠損により氾濫寸前の状態になった。既に応急復旧工事は完了しているが、本格復旧に向けて今後どのように対応していくのか。



A 有馬川を管理する兵庫県からは「できるだけ早い本復旧を目指しているが、それまでは現場のパトロール等を定期的に行い不具合等が見つければ適宜補修等の対応に努める。」と聞いている。

神戸市においては、ホームページを通じて周知に努めているが、新たな浸水想定を踏まえた「避難の在り方」などについて、検討を進めていきたい。



大池団地の法面对策について

Q 豪雨に見舞われた大池団地では、側溝を超えた雨水により法面が崩れ、神戸電鉄が運休に追い込まれた。早急に対策を取るべきだと思うがどうか。

A 下法面について、神戸電鉄が本復旧に向けて、調査・検討を進めている。上法面については、道路から法面に雨水が越流しないよう早急に恒久対策に取り組む。

千苧浄水場の保全対策について

Q 県による土砂災害特別警戒地域に、千苧浄水場の施設の一部が指定されている。保全対策を早急に講じる必要があると思うがどうか。

A 県の制度である「急傾斜地崩壊防止対策工事」が適用されるよう要望している。また、平成25年度から進めている「北神地区送水施設再整備事業」が完成すれば全域で水源の2系統化が図られる。

川原田弘子 議員 (垂水区)

沿岸部における高潮対策について

Q 沿岸部では高潮の浸水被害が大きかった。高潮のハザードマップが必要では？また、東川崎町・神戸駅周辺で広い範囲の浸水があった。ポンプ・水路などの見直しが必要では？



A 現在、兵庫県において、高潮浸水想定区域の設定を検討中でH31年度に公開される予定。これを受け、県と連携してハザードマップを作成する。東川崎町では、雨水幹線に海水が逆流し、豪雨が重なり浸水被害が発生した。台風21号の状況を踏まえ、雨水ポンプ場や雨水幹線の整備について検討していく。

重症心身障害児・者の避難スペースについて

Q 昨年、しあわせの村に重症心身障害児・者の災害時避難スペースができ見学してきた。人工呼吸器を必要とするなど、必要性を実感した。市内に複数個所の避難スペースが必要では？

A 中央区の市立老人健康センターを改修し、H31年度から新たな重症心身障害児・者の入所施設を整備予定であり、避難スペースの併設を検討していく。

医療産業都市の今後の展開について

Q 医療産業都市は、今年10月に20年を迎え、4月には新しく医療産業都市推進機構が発足した。次の10年、20年、どういう展開を構想していくのか？

A 企業が350社を超え、わが国最大のメディカルクラスターに成長しているが、まだ相乗効果が十分でない。まず、研究推進に取り組みたい。がん免疫や老化など国民的関心が高く、新たな治療法の開発が強く求められる分野において、関係機関が連携し研究開発に取り組みたい。

総括質疑

人見 誠 議員(北区)

●国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズ等の大規模国際スポーツイベントがあり、神戸の魅力をPRする絶好のチャンス。



この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、神戸の食や文化をPRすべきでは？

A 来年のラグビーワールドカップ開催時に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「ファンゾーン」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、ラグビーワールドカップと同時期に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「TRANS-KOBE(トランスコウベ)」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を実感できるメニューなどを庁内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

*明らかになった「ヤミ専従問題」について、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築、再発の防止も求めました。

一般質問

岩田よしあき 議員(西区)

1. 水素スマートシティ神戸構想について

Q 神戸市で取組みを進めている「未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業」は、オーストラリアから液化水素を海上輸送し日本で荷揚げ・供給を行うシステムの構築を目指す、世界でも例のない先駆的なプロジェクトである。



本年初めて、旧港島クリーンセンターにて水素のみを燃焼させ、それにより得た電気と熱をスポーツセンター・市民病院・国際展示場・下水処理場に供給する事に成功したが、これらの成果をもっと目に見える形でアピールしては？

A 実証期間の延長を希望されているので引き続き地元自治体として支えていきたい。構想については国内外に発信しノルウエーのオスロ駐在大使からのメールや東京の商社からも問合せがあったが、ご指摘を受けさらに強化していきたい。

2. 在学中における中小企業との接点について

Q 9月に神戸国際展示場で開催された「国際フロンティア産業メッセ」では、過去最多の512社の団体が出展した。金融機関が取引先の中小企業を紹介するブースがあったり、学生向けのセミナーが開催されるなど、企業と学生を結び付ける場となった。在学中から中小企業の魅力を知ってもらう取組みが更に必要では？

A 本市が行った大学生対象のイベントに参加した企業42社へのアンケートでは、半数から良かったとの回答を得た。アンケートの深堀が必要であり、参加していない企業からもニーズの聞き取りができないか事業の方法について検討する。

決算特別委員会

各会計の決算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。

●第1分科会



藤原武光(垂水区)



川原田弘子(垂水区)



岩田よしあき(西区)

●第2分科会

副委員長



人見 誠(北区)



池田りんたろう(北区)



大井としひろ(須磨区)

●第3分科会

理事



永江一之(灘区)



川内清尚(垂水区)



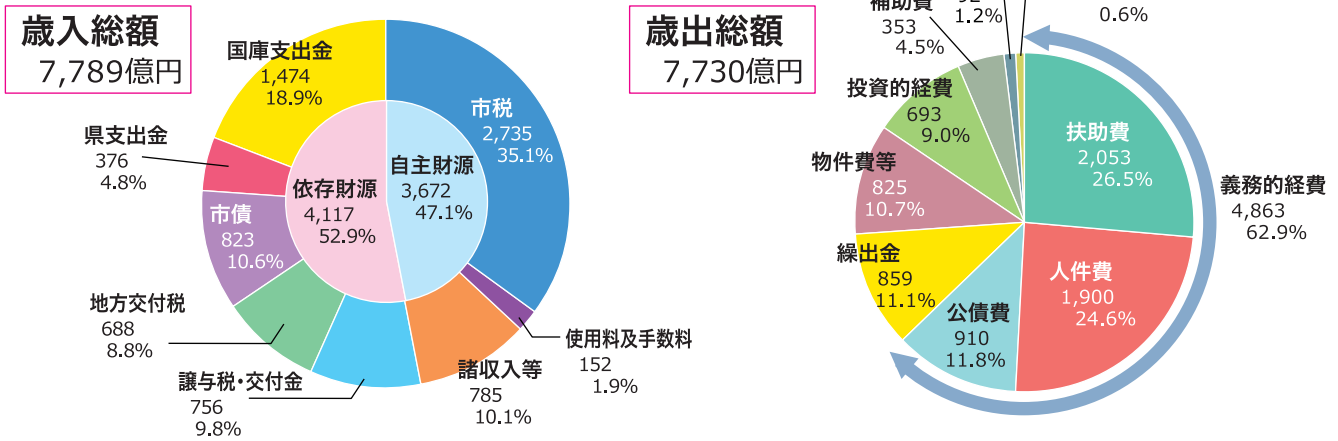
監査

平木ひろみ(中央区)

— 第 2 回 定 例 市 会 9 月 議 会 報 告 —

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポートタワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。



神戸市会議員（中央区）

平木ひろみ



市会報告

✉ hirakihp@yahoo.co.jp
 URL <http://www.hirakihiromi.com>
 携帯 090-6208-1313

こうべ市民連合議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

高校生以下の美術館入館料無料化

美術館も対象にした博物館法では、「入館料等は徴収してはならないが、やむを得ない事情がある場合は対価を徴収してよい」とされています。1960年に採択されたユネスコ勧告でも、観覧料はできるだけ無料とすべきこと、常時無料でない場合は、1週間に1日相当は無料にすること、低所得者・大家族には観覧料を免除すべきことが謳われています。



文化創生都市を標榜する神戸市として、市民共有の財産である芸術文化に触れる機会を少しでも多く作り、心豊かな次世代を育てるために、知恵と工夫で博物館、美術館の定期的な無料開放、まずは月1回の無料化に取り組むこと、定休日にも特別開館日を設けることなどを検討すべきではないかと提案し、美術館の入館料を高校生以下が無料になりました。ぜひ足を運んでください。

WIFI整備と「やさしい日本語」の導入

ボランティア通訳として観光案内をする現場で、神戸を訪れる多くの外国人からWIFIの整備について強い要望があり、整備の提案をし市内3000スポットが設置されたことを契機に整備が進み、神戸を訪れる方々がまず必要な情報を得ることができるようになりました。

国内外からの観光客にとっても市民にとっても移動しやすく、住みやすいまちを目指し、案内サインの多言語表記、やさしい日本語表記を含めて、誰でも一人歩きできるわかりやすい案内を目指すべだと提案し、その整備が進んでいます。

「避難」は「逃げる」、「警戒する」は「とても気を付ける」など、災害情報に使われる言葉だけではなく、日常生活の中でも「停車します」は「止まります」など表現の工夫ができます。外国人市民と共生する地域社会を目指し、市民への意識啓発を含め、「やさしい日本語」での表現を推奨しています。



多文化共生社会の推進

歴史的に多くの外国人が生活をされている神戸は、多文化共生に加え、多宗教共生と呼んでもいいほど、多様性を認めあう土壌のはぐくまれているまちです。外国にルーツをもつ子どもたちだけでなく、国際結婚の増加など、グローバル社会を反映して日本国籍を有する日本語指導が必要な子供たちも増えてきています。家族皆がよき神戸市民として地に足のついた生活ができるようになり、働き、納税する生活者として社会で共生していくためには、親も子ども日本語の習得は欠かせません。

神戸市では、来日すぐの外国人児童生徒に、母国語を理解するサポーターが寄り添っています。子どもたちの学ぶ権利を保障するためには、まず生活に最低限必要な「生活日本語」を習得し、勉強に必要な「学習日本語」までつなぐ必要があります。児童生徒本位に「生活日本語」から「学習日本語」まで日本語で日本語指導をする体系を整えるべきだと提案し続け、支援ボランティアが拡充されました。

ポートライナーの混雑緩和対策

ポートアイランドでは、医療産業都市に350社の企業や研究機関、医療機関が集積し、大学に加えて中学校、高校も開設されました。

朝夕のラッシュ時の混雑緩和のために、車両を増強したり、中学生専用のバスを用意したりと工夫をしています。しかしながら、医療産業都市も今後500社の集積をめざし、関西3空港一体運営の開始により神戸空港の便数増加や発着時間延長が進められる可能性を考えると、対策が不十分と言わざるをえません。交通アクセスの不十分さがポートアイランドへの企業・研究機関のさらなる誘致の足かせにならないよう、神戸空港の可能性を狭めないよう、長期ビジョンを持って輸送力を増強する必要があると何度も取り上げてきました。

ポートライナー三宮駅の拡張と8両編成の検討が始まっています。



© 一般財団法人神戸観光局

神戸市議員

人見 誠

ひとみまこと



編集・発行：こうべ市民連合議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161

決算特別委員会



9月18日から10月26日まで9月議会が開かれ、平成29年度決算を中心に議論が行なわれました。

私は決算特別委員会で環境局と保健福祉局への質問を担当しました。各局への主な質疑は以下の通りです。

【環境局】

Q 災害時における自立電源の確保という観点から、**公共施設への再生可能エネルギー導入**をさらに進めていくべきでは？

A これまでに、東部市場、小中学校、配水場などに太陽光発電設備や蓄電池の整備を行った。太陽光発電設備は現在、半数近くの学校に整備されている。引き続き、各局と積極的に連携していく。

Q 生物多様性の保全のための第一歩でわかりやすい身近な取組みとして、**地産地消、動物園や植物園への訪問、エコマーク商品の購入**などがあるが、これらを市民に広く周知し行動を促してはどうか？

A それらの取り組みは6月に施行した「生物多様性の保全に関する条例」の趣旨と合致するものであり、各局とも連携して一層取り組んでいきたい。

【保健福祉局】

Q 認知症の方への**免許返納促進**の取り組みや認知症の方の起こす自動車事故への対策も強化していくべきでは？

A 新たに創設する診断助成制度の第1段階の認知機能検診で認知機能の低下が見られると判断された場合、**医療機関より本人に運転免許の返納を勧奨**してもらえよう、依頼していく予定。今後、運転免許の自主返納をした時の対応も検討していきたい。

Q 認知症の方の**窃盗や万引き**の件数を減らすための取り組みも必要では？

A できるだけ**早期に認知症のどの疾患かを確定**し、どのような対応が有効か、本人やご家族が早期にわかるような仕組みを整えるなどの取り組みをしていきたい。



これからも、北神地域の行政サービス充実に取り組んでいきます。

【北神区役所への格上げのポイント】

○**取り扱い業務が拡充され、区民の利便性が向上します！**

※新たに取り扱われる主な業務
戸籍届出休日夜間受付対応、戸籍届出時の証明発行即時対応、各種保険証再発行等の即時対応、住居表示など

○**区役所スペースが拡充します！**

現在、北神支所が入居する「北神中央ビル」2階・4階に加え、5階の北図書館北神分館跡を活用し、区役所スペースの拡充（約930平米）が行なわれます。

トピックス 平成31年4月に「北神区役所」を設置

北神地域の行政拠点であった北神出張所は、平成29年4月に支所に格上げされ、平成30年4月には保健福祉・窓口部門を中心とした業務拡充・体制強化を行うなど、区民サービス向上のための取り組みが進められてきました。

北神支所は、**平成31年4月**にさらに**区役所に格上げ**され、北神地域を所管する「**北神区役所**」として設置される予定です。これにより、北神区役所でも、**他の区役所と同様のサービスが受けられる**こととなります。

あわせて、北図書館北神分館は商業施設内（エコー・リラ）に移転し、「北神図書館」として機能を拡充されます。

人見 誠 プロフィール

- 昭和49年2月18日生 ■一児の父
- 北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高校卒業
- 立命館大学法学部法律学科卒業
- 立命館大学大学院法学研究科修士課程修了
- 社会保険労務士、行政書士
- 現在、福祉環境委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会に所属
- ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hitomi-makoto>



人見まこと
オフィシャル
WEBサイト

<http://kobe-hitomi.jp>

ご意見・ご要望をお寄せ下さい！

北区鈴蘭台支部 人見 誠 事務所

神戸市北区南五葉1-3-27 1F
TEL 078-595-5195
FAX 078-595-5197
E-mail kobe.hitomi@gmail.com

総括質疑

決算特別委員会では総括質疑も担当し、市長に見解を問いました。主な質疑は以下の通りです。

1. 市役所における働き方改革について

Q 他都市では、「働き方改革は残業を減らすことではなく、市民に向き合える組織を作ることだ」として、組織改革や業務改革を実施して成果を上げているところもあるが、市役所における働き方改革の目的や意義についてどう考えているか？



A **市役所における働き方改革の究極の目的は、市民に質の高いサービスを効率的に提供すること**。そのために、**組織が前向きに常に開放的なマインドを持って仕事をしていく組織にする組織改革の面と、組織を支える職員一人ひとりの力を最大限に引き出していく**ということが大きな目的。

そして、業務の省力化、生産性の向上を図って、職員のワークライフバランスの確保を図っていくことが重要と考えている。

引き続き、職員一人一人の意識改革とともに、手続きの簡素化、ICT化を進めることで、職員の働き方改革と市民サービスの向上を着実に進めていきたい。

2. 国際スポーツイベントとシティプロモーション 観光振興について

Q 今後3年間、**ラグビーワールドカップ**や**ワールドマスターズゲームズ**等の大規模国際スポーツイベントがあり、**神戸の魅力をPRする絶好のチャンス**。

この機会を逃さず、歴史や文化に培われたライフスタイルや地域の魅力を発信するイベント等も開催し、**神戸の食や文化をPR**すべきでは？

A 来年の**ラグビーワールドカップ開催時**に、試合のパブリックビューイングや飲食ゾーン、ステージ、ラグビー体験コーナーで構成される「**ファンゾーン**」を神戸開催試合や日本代表戦の6日間に設置する。「ファンゾーン」は、「みなとまち・神戸」が実感できるようメリケンパークに設置し、飲食ゾーンでは、神戸ビーフやスイーツ・パンなど神戸を代表する食を提供したい。

また、**ラグビーワールドカップと同時期**に、兵庫港・新開地・新長田の3地区を舞台に開催する現代アートのイベント「**TRANS-KOBE (トランスコウベ)**」と連携する。現代アーティストが見慣れた風景を一変させ異次元への空間へと「TRANS-飛び越える」作品を発表する予定で、スタジアムと近接する会場周辺を周遊し、アートという切り口で神戸の奥深い魅力が発見してもらえると期待している。

その他、神戸のまちの魅力を堪能できるメニューなどを市内だけでなく経済界や観光・地域の団体等と連携して準備していきたい。

ヤミ専従問題

公務員が適法な許可を得ないまま、勤務時間内にもかかわらず、労働組合の活動にもっぱら従事することを「ヤミ専従」といいます。

9月初旬、神戸市職員労働組合の役員がヤミ専従問題が報道され、法律の定める専従期間上限7年を超える専従許可や、必要な承認を受けずに勤務時間中に組合活動を行う職務専念義務違反、それらによる違法な給与支払いの疑いなどの問題が発覚しています。

市長からは、全容解明のための第三者委員会を立ち上げ、年内を目途に報告書をまとめる方針が示されました。

9月議会は主に平成29年度決算内容を審査する議会でしたが、平成29年度においても違法な給与支払いの疑いが出ていることから、議会としては9月議会では決算を認定するか否かの結論を出さないことしました。

違法な支出額、関係職員の処分方針、再発防止等について市長からの報告を受けてから、あらためて質疑をし、結論を出すこととなります。

私も10月12日の総括質疑で言及しましたが、早期の全容解明と議会への報告、健全な労使関係の再構築と再発の防止に取り組む必要があります。

「認知症施策に関する神戸発のモデル」の導入が検討されています！

神戸市では、認知症の早期受診を推進するための「**診断助成制度**」や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「**事故救済制度**」の創設を内容とする神戸発のモデル（以下「**神戸モデル**」という）を実現したいとして、導入に向けた検討が進められています。

「**診断助成制度**」は平成31年1月開始予定で、
 ①地域の医療機関で、認知症の疑いが「ある」か「ない」かを検診する「**認知機能検診**」と、
 ②認知症の疑いが「ある」方に、専門の医療機関で認知症の有無と病名の診断を行う「**認知機能精密検査**」、の2段階の診断費用の個人負担部分を市が肩代わり負担するものです。

「**事故救済制度**」は平成31年4月開始予定で、「**診断助成制度**」を利用して認知症と診断されると、
 ①事故を起こして賠償責任を負った場合、最高2億円（予定）を支給する**賠償責任保険**に加入する（保険料は市が負担）、
 ②事故が起こった際に24時間365日**相談**対応を受けられる、
 ③日常生活の見守りや非常時のかけつけ（捜索）サービスができる**GPS**（衛星利用測位システム）の導入費用を市が負担する（月額利用料金は個人負担）、
 ④事故にあわれた市民に死亡時最高3千万円などの**見舞金（給付金）**を支給する、
 というものです。

認知症の方が事故を起こした場合、まず賠償責任の有無にかかわらず④の**見舞金（給付金）**が先行して支払われ、その後**賠償責任が認められれば**①の**賠償責任保険**が支払われます。

なお、①の**賠償責任保険**は、認知症診断の早期受診を進める観点から、認知症と診断された人が**事前に登録**した場合に支払われます（④の見舞金（給付金）は事前登録なくても支払われます）。

④の**見舞金（給付金）**は、死亡時最高3千万円などの内容のものは、**被害者が神戸市民**であれば支払われます。加害者が神戸市民で、被害者が神戸市民以外の場合は、最高10万円が支払われます。*＜表1＞参照

①の**賠償責任保険**は、**加害者が神戸市民**のときに支払われます（神戸市民以外は事前登録できないため）。*＜表2＞参照

①の賠償責任保険も④の見舞金（給付金）も、加害者・被害者ともに神戸市民以外の場合は支払われません。

また、認知症の方が車を運転することは禁止されているため、加害者が**自動車事故**を起こした場合は、①の賠償責任保険も④の見舞金（給付金）も**支払われません**。

別途、事前登録した認知症の方が、事故に遭って死亡もしくは後遺障害を負ったときは、最高100万円が支払われますが、それには自動車事故に遭った場合も含まれます。

（その他、制度の詳細は神戸市のホームページ等をご覧ください。）

これらの「神戸モデル」の実現に必要な費用を神戸市では年間約3億円と見込んでおり、それを市民のみなさんに薄く広くご負担いただくため、平成31年度から、**市民税均等割**（現行3,500円）に1人あたり**年間400円を上乗せ**することが検討されています。

「神戸モデル」に関連する議案は11月議会に提出される予定です。

「神戸モデル」は市長の強い意向もあり導入が進められています。本来このような制度は国で用意すべきものであり、またみなさんに新たに負担をお願いすることは大変心苦しいですが、認知症の方やそのご家族が安全安心に暮らし続けていけるにはどうすればよいか一緒に考えていければと思います。

＜表1＞見舞金（給付金）

		加害者	
		神戸市民	神戸市民以外
被害者	神戸市民	死亡:最高 3000万円 後遺障害: 75万円～3000万円 その他、入・通院、財物 損壊などに給付	死亡:最高 3000万円 後遺障害: 75万円～3000万円 その他、入・通院、財物 損壊などに給付
	神戸市民以外	最高 10万円	

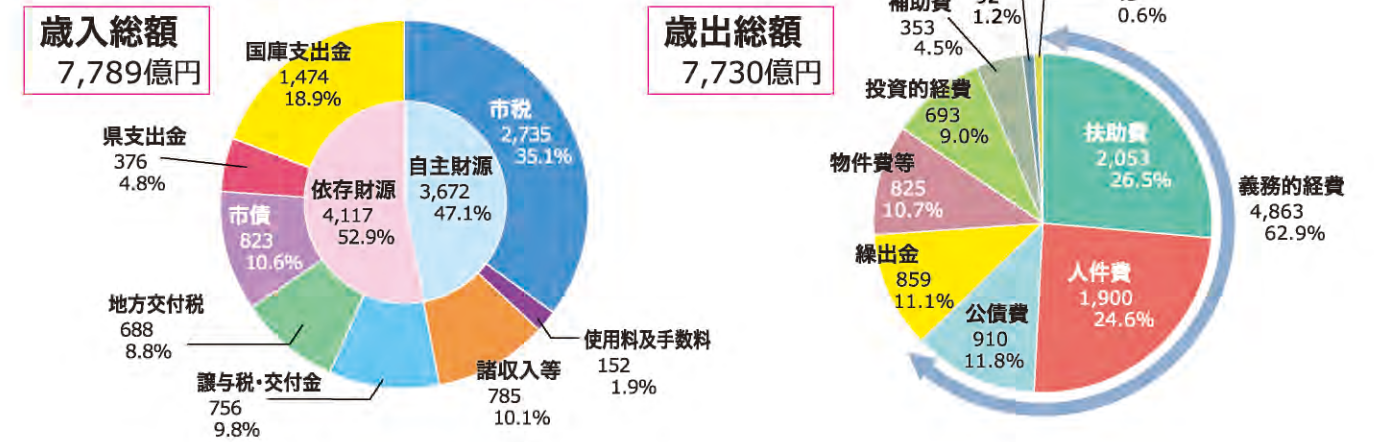
＜表2＞賠償責任保険

		加害者	
		神戸市民	神戸市民以外
被害者	神戸市民	最高 2億円	
	神戸市民以外	最高 2億円	

第2回定例会 9月議会報告

平成29年度一般会計決算は、所得の増加に伴う個人市民税の増加や行財政改革に取り組んだことから実質収支の黒字を確保できました。しかし、会期前に発生したヤミ専従問題を受け、市長から「第三者委員会の調査から、H29年度決算に関する中間報告を受け、今会期中（12月5日まで）に過払い給与の額に関して提出する。」旨の意思表示があり、認否の結論は11月議会まで見送られることになりました。

■一般会計歳入歳出決算（平成29年度）（単位：億円）



神戸医療産業都市推進機構の本庶佑理事長 2018年ノーベル生理学・医学賞の受賞決定!!

神戸医療産業都市推進機構は、前身の先端医療振興財団より更なる発展を目指して再編成され、今年4月に発足した組織です。本庶理事長には2015年に先端医療振興財団の理事長としてご就任いただき、以来、3年にわたって神戸医療産業都市をけん引していただいています。機構内の先端医療研究センターには、本庶先生のご専門の免疫チェックポイントなどの研究を行う免疫機構研究部をはじめ、老化機構研究部、神経変性疾患研究部、脳循環代謝研究部などが創設され、研究開発に力を入れられており、神戸市民として、本庶理事長のご受賞にお祝いを申し上げますとともに、今後の研究成果に期待をしたいと思います。



三宮南地区で連節バスの社会実験を実施

三宮からウォーターフロント間のアクセス性向上・本格運行の可能性検討のため、H30年10月、9日間に渡って、エリアを周遊する連節バス運行の社会実験が実施されました。バスには、公募で選ばれたポータータワーがデザインされています。今後のアクセス向上が期待されます。



認知症の人にやさしいまちづくり条例について

今年4月1日、認知症の人にやさしいまちづくり条例が施行されました。認知症は、加齢によって多くの人がなり得る病気です。

神戸市では、この条例を具現化するため、認知症の早期受診を推進するための診断助成制度や、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する事故救済制度の創設を内容とする神戸発のモデルが提案され、市民意見の募集が行われました。今後、市民意見を反映した上で、11月議会に条例改正案として提案される予定です。



かわらだ ひろこ
川原田弘子 ニュース



2018年11月発行



多発する災害に備えて

6月の大阪北部地震に端を発して、豪雨、台風と、日本列島は、今年の夏、多数の災害に見舞われました。今年、神戸市内で被害の大きかった災害を振り返って、毎年のように発生する豪雨台風の災害について、今後、どういうまちづくりが必要か、考えてみたいと思います。

1 H30年度の災害の発生状況について(全国)

H30年6月18日	大阪北部地震	大阪北部を震源とし大阪市北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市で震度6弱。死者5名、全壊16件、半壊472件
H30年6月28日～7月8日	7月豪雨	全国。特に広島県・岡山県・愛媛県の被害が大きい。死者224名、行方不明8名、全壊6695件、半壊10722件
H30年8月23日24日	台風20号	姫路市に上陸したため、神戸市内の住宅被害が多い。(全国集計データは更新されていない)
H30年9月4日	台風21号	徳島県に上陸後、近畿地方に。死者14名。全壊26件、半壊189件。大阪市の一部損壊42735件。高潮の浸水被害大
H30年9月6日	北海道胆振東部地震	北海道胆振地方を震源とし、厚真町で震度7。死者41名、全壊394件、半壊1016件。

2 神戸市内での被害状況について (7月豪雨・台風20号・台風21号 H30.10.19時点)

被害状況	7月豪雨	台風20号	台風21号
人的被害	1名(軽症)	4名(軽症)	5名(軽症)
建物被害	全壊	12件	2件
	大規模半壊	4件	2件
	半壊	9件	10件
	一部損壊	69件	181件
	床上浸水	4件	125件
	床下浸水	16件	32件
その他	河川越(溢)水	3件	6件
	池越(溢)水	5件	-
	側溝(溢)水	27件	5件
	土砂崩れ	108件	3件
	土石流	1件	-
	擁壁崩れ	8件	-
	暴風雨	-	6件
	高潮	-	1件
	その他	45件	102件
			97件



7月豪雨の直後の篠原台の様子。土砂が道路や住宅内に流入し、避難指示が出されました。



堆積土砂撤去済
その後、篠原台では堆積土砂は撤去され、8月10日に避難指示が解除されましたが、全壊12件を含む被害が発生しています。

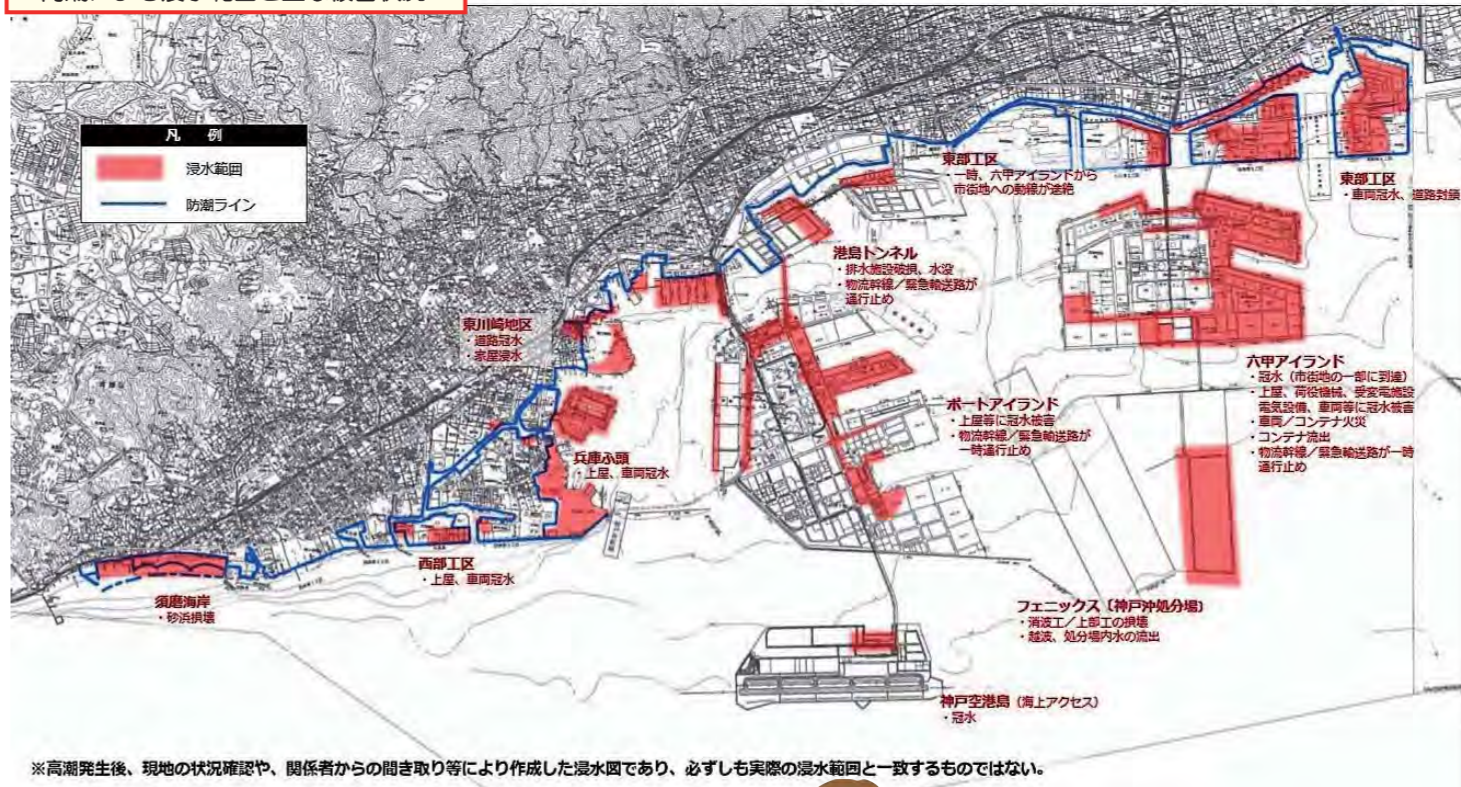
3 台風21号の沿岸部の浸水被害について



台風21号は、戦後最大となった第2室戸台風の潮位を超える高潮災害が発生し、沿岸部において、広い範囲で浸水被害が発生しました。下図は、被害報告に基づいて作成された浸水の状況を表した図です。

- ～臨海部の被害状況～
- 六甲アイランドの岸壁からコンテナ約30本流出。
 - 六甲アイランドで冠水した車両10数台が燃える火災発生。
 - 東灘消防署六甲アイランド出張所の冠水。
 - 臨海部の工場からガスボンベ等流出。
 - 港島トンネルで浸水、通行止め。その他臨海部の複数個所で浸水発生。
 - 東川崎町、弁天町、阪神深江駅周辺など神戸市臨海部、ポートアイランド、六甲アイランドで複数の浸水が発生。

高潮による浸水範囲と主な被害状況



※高潮発生後、現地の状況確認や、関係者からの聞き取り等により作成した浸水図であり、必ずしも実際の浸水範囲と一致するものではない。

***コンテナ火災は鎮火しました！**

六甲アイランドのコンテナヤードで発生した火災は、マグネシウム混合物であったため、水による消火活動ができずに鎮圧後も1か月以上要しましたが、10月26日、無事に鎮火されました！



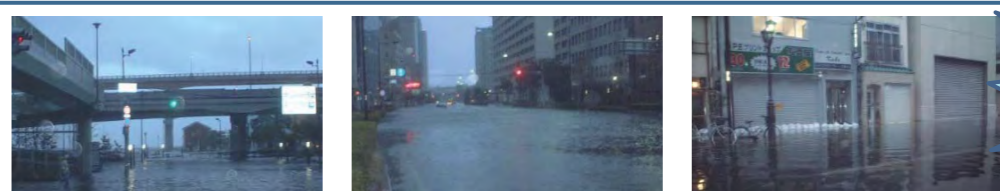
***高潮対策検討委員会が開催！**



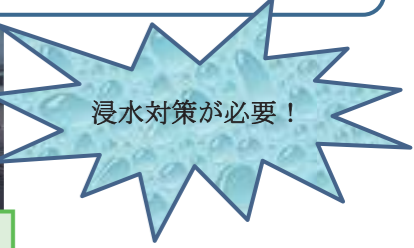
台風第21号による被害の詳細把握、原因究明、必要なハード・ソフト対策を検討するため、国土交通省によって「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」が開催され、検討が開始されました。

4 三宮南地区におけるポンプ場の整備について

皆さん、覚えていらっしゃいますか？2004年の台風では円山川が決壊するなどの甚大な被害をもたらしましたが、神戸市においても、16、18、21、23号と台風の度に三宮南の2号線一帯が浸水し、都市機能をマヒさせることとなりました。これを機に、防潮堤の整備と3つのポンプ場整備が進められました！！

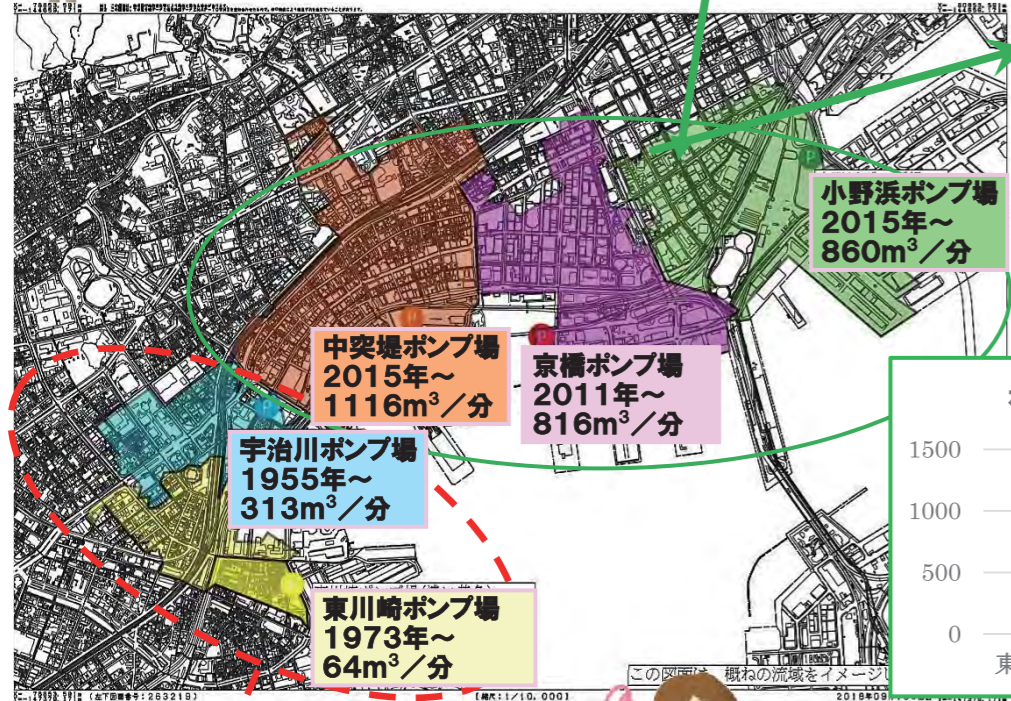


2004年台風18号襲来の際の三宮南地区の様子。2号線が浸水したため、自動車已全部市街地の間に流れ込み、市街地はひどい渋滞となりました。

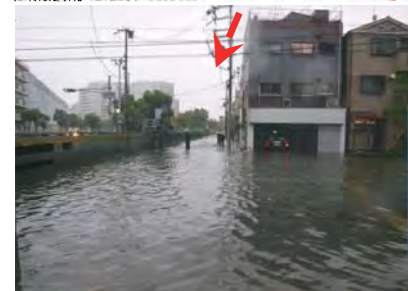
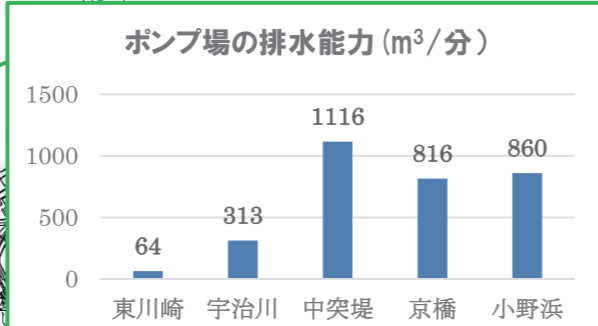




そこで、浸水対策が検討され、三宮南地区のエリアに、防潮堤と、小野浜・京橋・中突堤の3つのポンプ場を整備する方針が決定し、約10年、281億円をかけて建設されました。2015年からは3つのポンプ場が運用されています。



ポンプ場が整備された三宮南地区については、今回の台風21号においても、浸水被害はほとんどありませんでした。排水能力の高い3つのポンプ場の効果が表れています。(ただし、側溝など一部未整備のところもあります)

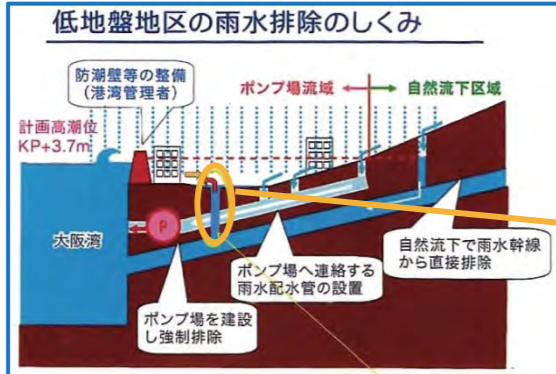


ところが、東川崎町や神戸駅周辺などでは台風21号によって、広範囲で浸水被害が発生しました。

東川崎町の浸水対策について代表質問を行ったところ、久元市長より「高潮時の内水排除対策として流域を見直すとともに抜本的な対策として、新たなポンプ場や雨水幹線などの整備について検討を行っていききたい」とのご答弁をいただきました。今後の対策に期待したいと思います。

神戸港の過去の潮位 単位:m

高	T.P+2.80	高潮防潮堤整備基準高 (K.P+3.70)
	T.P+2.30	第2室戸台風最高潮位 (K.P+3.20)
	T.P+1.94	ジェーン台風最高潮位 (K.P+2.84)
	T.P+1.77	平成16年台風16号最高潮位 (K.P+2.67)
海抜	T.P±0.00	東京湾平均海面 (K.P+0.90)
低	T.P-0.90	神戸港修築工事基準面 (K.P±0.00)



通常、雨水は雨水幹線を通り自然流加によって海へと放出されますが、低地盤地区では、逆流してしまいます。そこで雨水排除用のポンプと雨水排除管を整備することで雨水を強制排除します。三宮南地区でのポンプ場整備では、一部側溝の切り替え等が未整備です。東川崎町ではポンプ場の更新整備も含めて今後の検討が必要です。

5 危険ブロック塀等撤去助成事業について



H30年6月の地震でのブロック塀倒壊事故を受けて、危険ブロック塀等撤去助成事業が創設されました。
補助金額 = 撤去費用×補助率2/3 (上限20万円)
助成件数は、500件が予定されています。
詳細は、「すまいるネット」にご相談ください。

神戸市すまいるの総合窓口
すまいるネット
ご相談専用ダイヤル
078-222-0005

〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202 (垂水支部) 神戸市会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

ご相談はこちらに

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
編集・発行 こうべ市民連合議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161

6 レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)の指定について

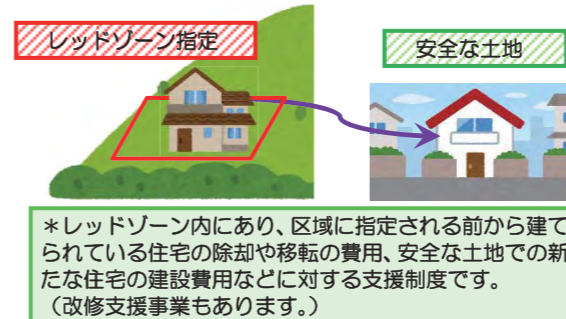


土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害の恐れがある区域について、
(1) 危険の周知
(2) 警戒避難体制の整備
(3) 住宅の新規立地の抑制
(4) 既存住宅地の移転促進等のソフト対策
を推進しようとするもので、兵庫県が基礎調査を行い知事が指定します。土砂災害の恐れがある区域のうち、建築物に損傷が生じ住民などの生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域は、「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」となります。レッドゾーンについては北区から順次調査・指定を進めており、平成31年度を目途に市内全域の基礎調査を完了させる予定です。レッドゾーンに指定されると特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制、建築物に対する移転等の勧告などが行われます。



レッドゾーンについては、ひろこよりVOL.15でも紹介しました。移転する際は補助制度がありますので下記にご説明します。

*神戸市住宅土砂災害対策移転支援事業について



*レッドゾーン内にあり、区域に指定される前から建てられている住宅の除却や移転の費用、安全な土地での新たな住宅の建設費用などに対する支援制度です。(改修支援事業もあります。)

垂水区ではレッドゾーンの指定はこれからになります。代表質問では、レッドゾーンの指定を受け移転した際に、元の土地の固定資産税などの大幅な減免をするべきではと要望しています。

区分	内容	補助限度額
除却等費(①)	既存住宅の撤去、動産移転、仮住居、跡地整備等に要する経費	133万円 (200万円(補助対象限度額)×2/3(補助率))
建物助成費(②)	移転先住宅の建設又は購入をするための借入金の利子に相当する経費	722.7万円 (建物457万円、土地206万円、敷地造成59.7万円) ※ただし、特殊土壌地帯に該当しない北区の一部地域(淡河町、長尾町等)については、補助限度額は、415万円(建物319万円、土地96万円)です。
	移転先住宅の建設又は購入をするための経費	200万円 (※利子相当額補助を活用する場合に限る)

注) 特殊土壌地帯災害防除及び復興臨時措置法により指定される地域。
・既存住宅は除却してください。除却後の跡地は適切に管理し、住宅の用に供する建築物は建築しないでください。
・移転先が、イエローゾーン又はその指定のおそれがある区域の場合、補助対象になりません。
・くわしくは、兵庫県神戸土木事務所にご確認ください。
・市内での移転をお願いします。(移転先が市外の場合、除却等費のみが対象です。)
・除却等費(①)の対象工事費が200万円を超えた場合、補助額は一律133万円です。

7 被災者生活再建支援制度について

自然災害により、その生活基盤に著しい被害を受けた人に対し、都道府県が拠出した基金を活用して被災者生活再建支援金として支給する制度です。支援金には、住宅の被害程度に応じて支給される「基礎支援金」と、住宅の再建方法に応じて支給される「加算支援金」とがあります。



「被災者生活再建制度」が適用されるには、
・兵庫県では100世帯以上の住宅の全壊
・神戸市では10世帯以上の住宅の全壊
が要件となります。
今回の7月豪雨は10世帯以上の住宅全壊が発生しており、制度の対象となりました。
20号台風、21号台風は国制度に当たらないため、下記の県市制度が利用できます。

生活再建支援金(県市制度) 20号台風、21号台風、7月豪雨の半壊以下の被害の方が対象です

支給額	区分	金額
全壊で建設、購入、補修等		150万円
大規模半壊で建設、購入、補修等		75万円
半壊で建設、購入、補修等		25万円
一部損壊・床上浸水(損害割合10%以上)で建設、購入、補修		15万円

生活再建支援金(国制度) 7月豪雨は対象です

▼複数世帯の場合				
区分	住宅の再建方法	基礎支援金	加算支援金	合計
全壊世帯	建設・購入	100万円	200万円	300万円
	補修	100万円	100万円	200万円
	賃借	100万円	50万円	150万円
大規模半壊世帯	建設・購入	50万円	200万円	250万円
	補修	50万円	100万円	150万円
	賃借	50万円	50万円	100万円
▼単数世帯の場合				
区分	住宅の再建方法	基礎支援金	加算支援金	合計
全壊世帯	建設・購入	75万円	150万円	225万円
	補修	75万円	75万円	150万円
	賃借	75万円	37.5万円	112.5万円
大規模半壊世帯	建設・購入	37.5万円	150万円	187.5万円
	補修	37.5万円	75万円	112.5万円
	賃借	37.5万円	37.5万円	75万円

こうべ市民連合議員団

2019年 新年号 No.20

News

編集・発行：こうべ市民連合議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5844

更なる飛躍に向けて
輝く新春2019年が幕を開けました。今年、平成最後の年で、新しい元号が始まる節目の年になります。神戸市も飛躍元年と位置付けて、更なる飛躍に向けて取り組んでいかなければなりません。2月から来年度の予算市会が開会されます。日頃皆さまから頂いているご意見・ご要望をしっかり意見反映し、今度神戸市が取り組んで来た、障がい者福祉・子育て支援・まちの安心安全等は絶対の後退させるとなく、新しい施策に向けてもしっかり取り組んでいけるよう議会の立場で意見反映しながら、神戸市の発展に向けて全力で取り組んで参ります。



議員控室にて

市会報告

昨年の11月市会での議員提出議案

「神戸市子どもを虐待から守る条例案」を提出

昨今、テレビや新聞で虐待のニュースを見るたびに心が痛む思いです。

子どもへの虐待は、子どもの基本的人権を否定する著しい人権侵害であり、決して許されるものではありません。子どもたちの幸せを守り虐待を防止するため、全ての神戸市民が一体となって、地域の力で子どもと家庭を支える社会を推進するため、この条例案が提出されました。

条例案が可決したら 何がどう変わる？

1. 来年度より常勤弁護士を配置するよう検討しています。
2. 市・市民・保護者・近親者の責務が明確化されます。

●本市における児童虐待相談件数

平成28年度
1,225件

↓
平成29年度
1,548件



郵便はがき



料金別納郵便

川内きよなお
事務所



神戸市会議員（垂水区）

かわうち

川内きよなお

☑川内きよなお事務所

〒655-0014 神戸市垂水区大町1丁目2-10
携帯電話 080-6175-4877

☐こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
TEL (078) 322-5844
FAX (078) 322-6161

— 市政のご相談はお気軽にご連絡ください —

市会報告 **ふれあいの垂水宣言** **神戸市議会News**
人とひとが支えあう社会を

編集・発行=こうべ市民連合議員団/神戸市中央区加納町6-5-1/TEL 078-322-5844



平成29年度決算 附帯決議を付けて認定

平成29年度決算は、「ヤミ専従」問題により不適正な給与支払の究明が必要とされ決算認定が先延ばしになっていましたが、中間報告を受け改めて附帯決議を付けて承認しました。

「ヤミ専従」問題の第三者委員会より中間報告

11月22日、第三者委員会から「神戸市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反に関する調査委員会による中間報告等について」報告がありました。

報告では「在籍専従の法令違反の批判を避けるため、神戸市主導で退職派遣を用いる等、当局の強い意向が反映されるなど神戸市の責任は重い」とされ、「ヤミ専従」は労使癒着でなければ出来ないことであり、1980年頃から法令違反が常態化していたことが判明しました。



「チェック・オフ廃止条例」問題について

社会通念化している「給与から組合費の天引き、いわゆるチェック・オフ」制度をまったく別次元の「ヤミ専従」問題と絡め、神戸市職員労働組合だけ懲罰的に廃止しようとするものです。組合の当然の権利と言える「チェック・オフ」の廃止は、ILOや憲法及び地方公務員法の趣旨に反する行為であり、我が会派は反対の立場で議論に望んできました。しかし結論を先延ばしされ「継続審査」となりました。これからもまだ多くの懸案課題がありそのことに取り組みます。

郵便はがき

□□□□-□□□□□□

料金別納郵便

神戸市議員

藤原 武光

市政のご相談・問い合わせ先

自宅/神戸市議員 藤原武光 (事務所)

〒655-0051 神戸市垂水区舞多聞西5-2-63
TEL・FAX 078-783-9806

市会/こうべ市民連合議員団

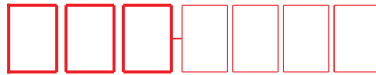
TEL 322-5844 FAX 322-6161



郵便はがき

料金別納郵便

議会改革



神戸市会議員
池田りんたろう



神戸市会議員 子どもたちの未来と明日の北区のために

池田りんたろう 市会ニュース

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844

飛翔こうべ

二〇一九年。「住みよい北区のまちづくり」に向けて、新たな決意のもと新年を迎えました。本年も神戸市政に対するご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

北区のまちづくりに向けた課題解決のため二〇一九年度予算要望を行いました。

交通関係の要望

- ・神戸電鉄西鈴蘭台駅前再整備および北鈴蘭台駅ロータリーの整備。
- ・北神急行電鉄の料金低減化と高齢者割引制度の創設。



西鈴蘭台駅前

生活道路関係の要望

- ・四二八号線(有馬口(五社))(日の峰五(箕谷))の拡幅整備工事の早期事業化とトンネル化も含めた検討。
- ・六甲トンネル有料道路の早期無料化。



六甲トンネル有料道路

教育関係の要望

- ・神戸電鉄も対象交通機関に含めた上で、通学費助成制度を拡充。
- ・北神地区に高等学校を新設。
- ・くらし関係の要望
- ・北区役所・兵庫商業高校跡地について、街の魅力づくり、賑わいづくりに役立つような活用計画。
- ・北図書館の拡張整備。

— 市政のご相談はお気軽に —

池田りんたろう事務所 〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1丁目6番
 電話 078-982-1177 FAX 078-981-1801
 こうべ市民連合議員団 電話 078-322-5844 FAX 078-322-6161